

全国初 「スタンドバイ・クレジット制度」で日本政策金融公庫と連携を開始 ～ 日本政策金融公庫と連携し中小企業者の海外での資金調達支援をサポート ～

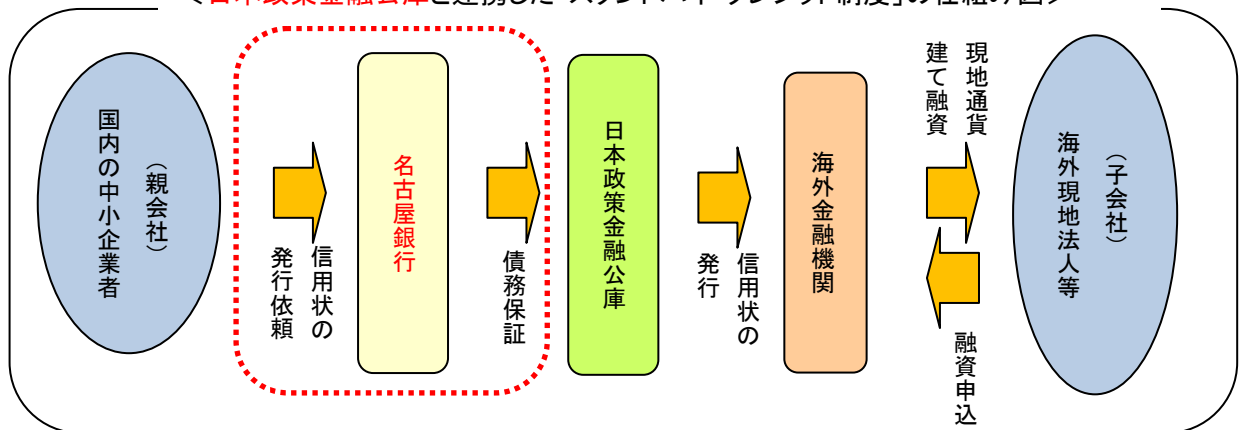
記

名古屋銀行（頭取 中村 昌弘）は、本日（10月30日）付にて、日本政策金融公庫（中小企業事業本部長 豊永 厚志）と「スタンドバイ・クレジット制度」にかかる基本契約を締結し、本制度での連携を開始しました。本制度での基本契約の締結、連携の開始は全国初となります（注）。

「スタンドバイ・クレジット制度」とは、日本政策金融公庫が、業務提携する海外金融機関（インドネシア・シンガポール・タイ・大韓民国・フィリピン・ベトナム及びマレーシアの計7カ国の海外金融機関）に対して債務保証のための信用状を発行し、中小企業者の現地通貨建て資金調達の円滑化をサポートする制度です。

今回の連携により、当行は日本政策金融公庫の海外ネットワークを活用し、取引先中小企業者の海外での資金調達支援を行うことが可能となります。また、中小企業者の方々にとっては、日常取引のある当行を窓口（申込み・審査・契約手続き）としながら、海外での事業展開において日本政策金融公庫の信用力を背景とした円滑な資金調達を行うことができるようになります。

<日本政策金融公庫と連携した「スタンドバイ・クレジット制度」の仕組み図>



（注）日本公庫は、本日付で、当行の他にも地域金融機関と基本契約を締結しています。

以上